

令和元年度進行管理・評価シート
尾道市歴史的風致維持向上計画（平成24年6月6日認定）
（最終変更令和元年6月13日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観計画	2
2 景観地区	3
3 屋外広告物の制限(尾道市屋外広告物条例)	4
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 常称寺建造物保存修理事業	5
2 浄土寺・西國寺建造物防災設備整備事業	6
3 まちなみ形成事業	7
4 歴史的風致形成建造物修景・修復事業	8
5 指定文化財管理事業	9
6 文化財防災啓発事業	10
7 道路美装化事業	11
8 道路美装化事業(瀬戸田地区)	12
9 道路美装化事業(幹線街路)	13
10 沿道建造物等修景事業	14
11 老朽危険建物除却促進事業	15
12 空き家再生促進事業	16
13 電柱類等景観改善事業	17
14 軽車両等道路事業	18
15 夜間景観形成事業	19
16 データ収集分析調査事業	20
17 多国語音声設備設置事業	21
18 地域観光担い手育成事業	22
19 歩行者安全対策事業	23
20 道路水路修繕事業	24
21 駐輪場整備事業	25
22 文化財調査・研究事業	26
23 郷土芸能祭開催事業	27
24 史跡等総合活用支援推進事業	28
25 文化財愛護少年団事業	29
26 文化財講座開催事業	30
27 民俗芸能等支援事業	31
28 尾道歴史文化読本作成事業	32
29 文化財めぐり事業	33
30 近代化遺産活用事業	34
31 文化施設ネットワーク事業	35
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の調査に関する事項	36
2 文化財の修理に関する事項	37
3 文化財の防災に関する事項	38
4 文化財の継承の仕組みに関する事項	39
5 文化財の活用に関する事項	40
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 尾道港850年の歩み 瓦など出土品展示他	41
⑥その他(様式1-6)		
1 他都市等の行政視察、調査等の受け入れに対する取組	42
2 観光客(総数・外国人)数の推移	43

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	44
--------------------------------	-------	-----------

評価軸①-1 組織体制		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
計画の推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	○計画策定段階の庁内検討会を継承・発展させた関係課による推進体制を構築 ○文化財部門の文化振興課とまちづくり推進課のより密度を高めた連携・調整等 ○国・県等関係機関との協議と適切な支援を得るよう努める		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
庁内体制では、まちづくり推進課が行うハード整備(道路美装化事業等)の実施にあたって、庁内の道路管理局、商工及び観光部局と日常的に協議を実施し事業の円滑な進捗に努めた。 今年度の尾道市歴史的風致維持向上計画推進協議会は、コロナウイルス感染症対策のため、計画の変更及び令和元年度の進行管理・評価について、書面による審議を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○尾道市歴史的風致維持向上計画推進協議会は、令和2年6月に書面による審議を行った。 議題『計画の変更(案)及び令和元年度進捗評価(案)について』			

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和元年度
景観計画		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 尾道市の景観施策については、平成16年に施行された景観法に基づき、積極的に尾道の景観の保全と創造に取り組んできている。今後とも4点セット(景観条例、景観計画、景観地区に関する都市計画、屋外広告物条例)を基本に景観重要建造物・景観重要樹木の制度の導入等を検討しながら、歴史的風致の維持及び向上の面からも、景観施策に取り組んでいく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

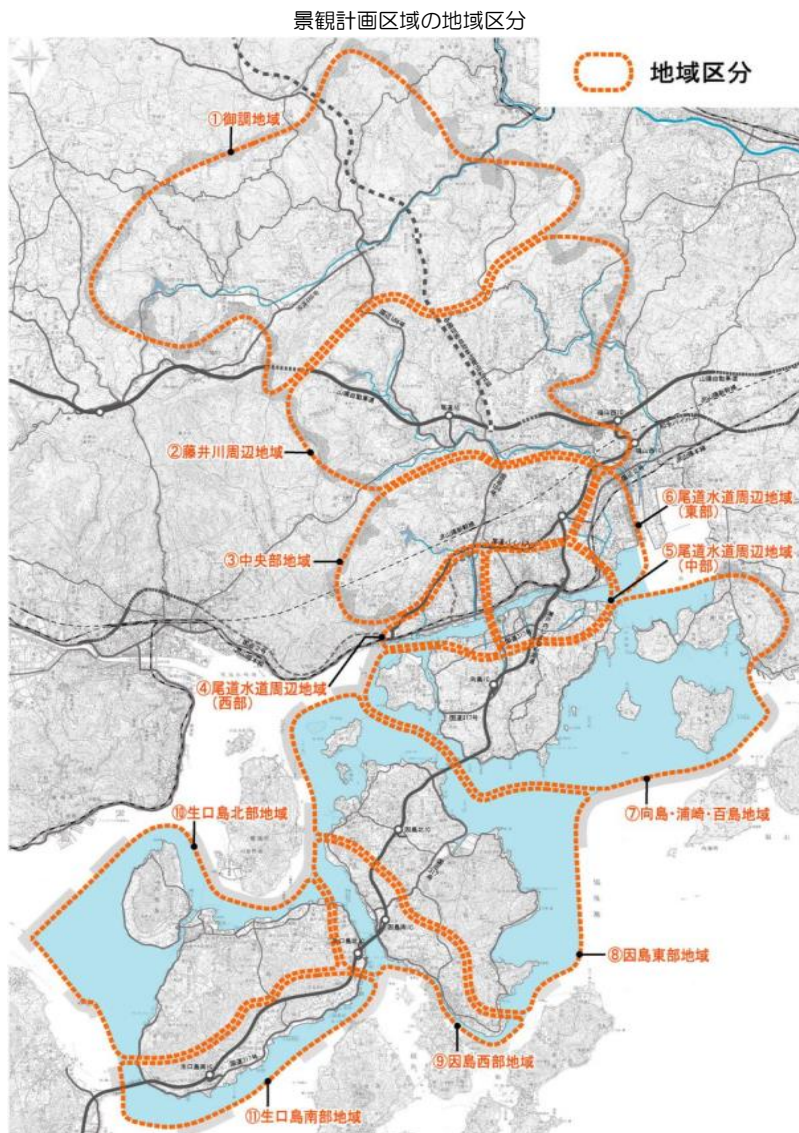
平成17年8月1日景観行政団体となり、平成19年4月1日景観条例を施行し、併せて景観計画を旧尾道市・向島町を対象として定め、さらに平成22年4月1日に尾道市全域に拡大して定めている。景観計画においては、景観計画区域内で建築物の新築等の行為を行う場合は、規模等により、あらかじめ市長に届出が必要とするなど、《心に残る尾道の景観》の形成を図ることとしており、引き続き、冊子等により制度への理解を求め周知に努めた。

令和元年度届出件数：62件

◇平成24年度：72件 ◇平成25年度：64件 ◇平成26年度：54件 ◇平成27年度：50件 ◇平成28年度：88件 ◇平成29年度：69件 ◇平成30年度：65件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和元年度
景観地区		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 景観計画で位置づけた重点地区のうち尾道・向島地区については、都市計画で景観地区を定めている。この地区では、建築物等のデザインや色彩を制限するほか、眺望景観を守るために一致の区域で建築物の高さを制限する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

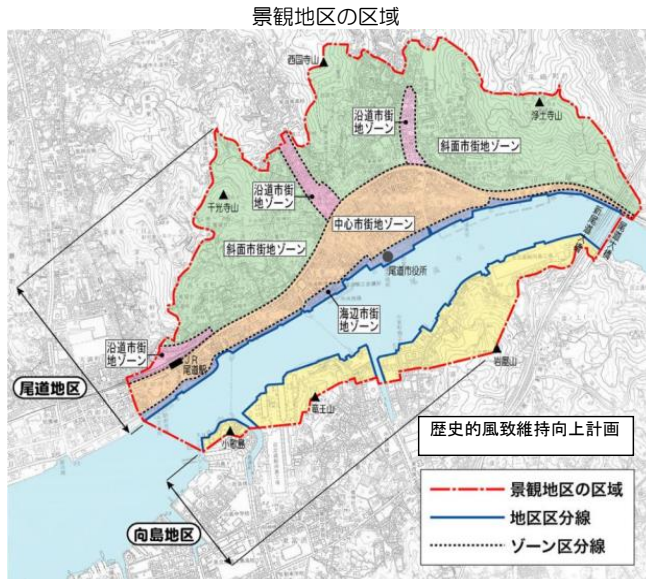
平成17年8月1日景観行政団体となり、平成19年4月1日景観法による景観地区を都市計画に定めた。景観地区においては、建築物・工作物の形態意匠を制限し、建築物の新築等について、規模の大小を問わず、市長に認定申請が必要としている。建築物の高さ制限については、15m、21m、24m、27mに区分し、これらの制限値を超える建築物は、建築確認済証が交付されない。制度への理解を得るとともに、随時パトロールを行い冊子等により認定制の周知に努めた。
 令和元年度認定件数：56件
 ◇平成24年度：19件 ◇平成25年度：33件 ◇平成26年度：64件 ◇平成27年度：78件 ◇平成28年度：70件 ◇平成29年度：63件 ◇平成30年度：57件

進捗状況 ※計画年次との対応

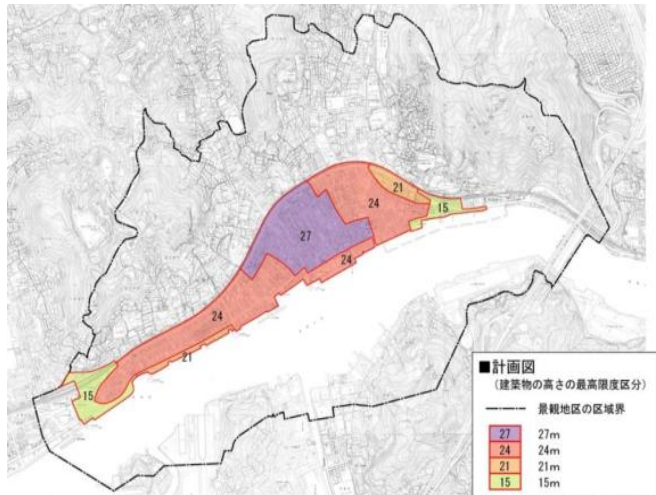
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



高さの最高限度の区分



景観地区内にあり高さ制限24m範囲内で建てかえた市役所新庁舎(令和元年12月完成)

評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和元年度
屋外広告物の制限(尾道市屋外広告物条例)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 ①景観計画区域内の制限:周囲の景観との調和や建築物との一体性が確保されるように制限を行っている
 ②景観地区内の制限:①の制限に加え、「屋上広告物は設置できないものとする」などの制限を行っている

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成17年8月1日景観行政団体となり、平成19年4月1日屋外広告物条例を施行し、必要な規制を定め、良好な景観の形成、風致の維持、公衆に対する危害の防止に努めている。特に景観地区においては、屋上広告物の禁止や形態意匠の制限を厳しくするなど、地区内の良好な景観(眺望景観及び地域の景観との調和)の保全に取り組んでいる。
 令和元年度も屋外広告物の巡回を実施し、無許可で設置の物件21件について申請の指導を行った。(うち17件許可済、4件除却済)
 ※補助金交付制度による屋上広告物撤去件数(平成29年度で終了)
 ◇平成24年度:4件 ◇平成25年度:2件 ◇平成26年度:2件 ◇平成27年度:4件 ◇平成28年度:1件 ◇平成29年度:2件

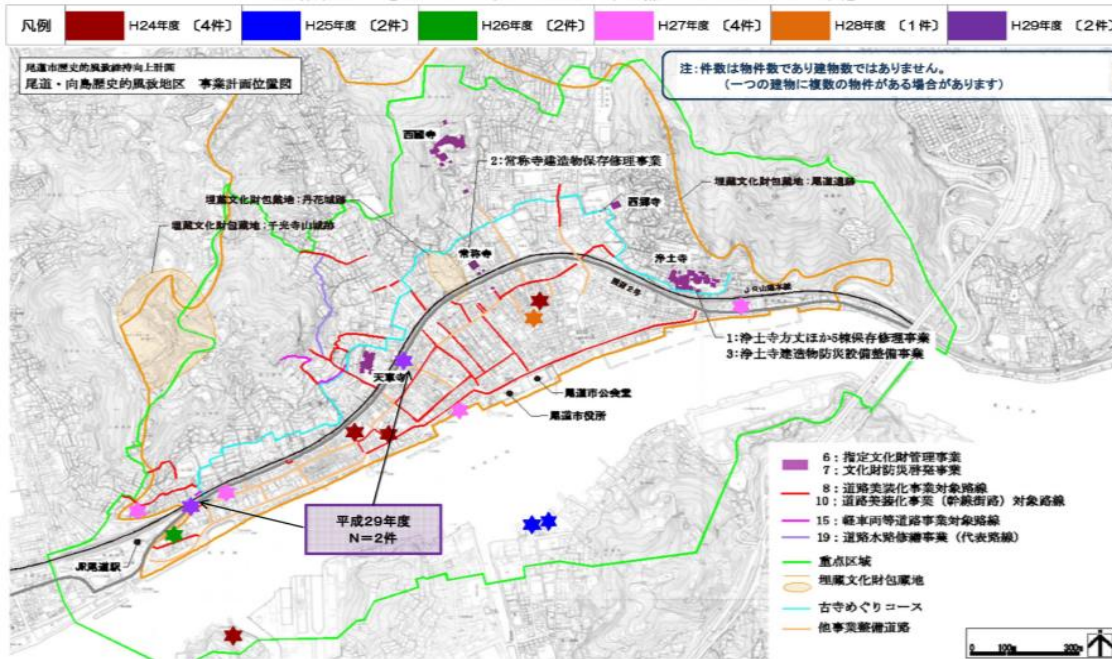
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

「尾道市屋上広告物撤去に係る補助金交付制度(平成29年度終了)」による撤去
 整備箇所【屋上広告物の制限に係る撤去補助金交付制度】





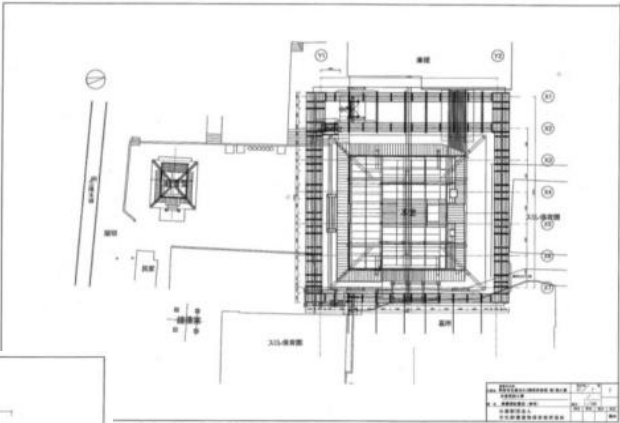

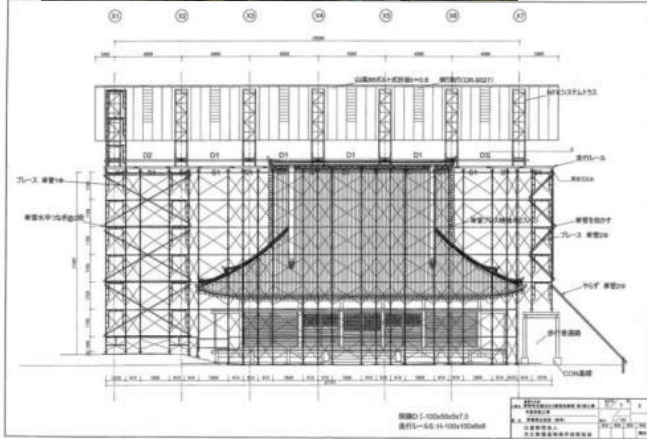
平成29年度撤去事例



撤去前



撤去後

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
常称寺建造物保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成28年度～令和3年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備事業		
計画に記載している内容	老朽化が進んでいる常称寺本堂・観音堂・墓処門の保存修理事業を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和元年度では、保存修理事業を継続して実施し、本堂の解体工事・保管・組み立て工事・地盤補強工事を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
常称寺本堂（重要文化財）の解体修理		常称寺本堂組み立て工事	
			
常称寺本堂（重要文化財）地盤補強工事			
			
		↑ 『参考図面』重要文化財 常称寺本堂ほか2棟保存修理 公益財団法人文化財建造物保存技術協会 (尾道市文化振興課提供)	

項目	評価対象年度	令和元年度
浄土寺・西國寺建造物防災設備整備事業		■実施済 □実施中 □未着手

事業期間 平成26年度～令和元年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備事業

計画に記載している内容 重要文化財建造物への防災設備を整備する

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

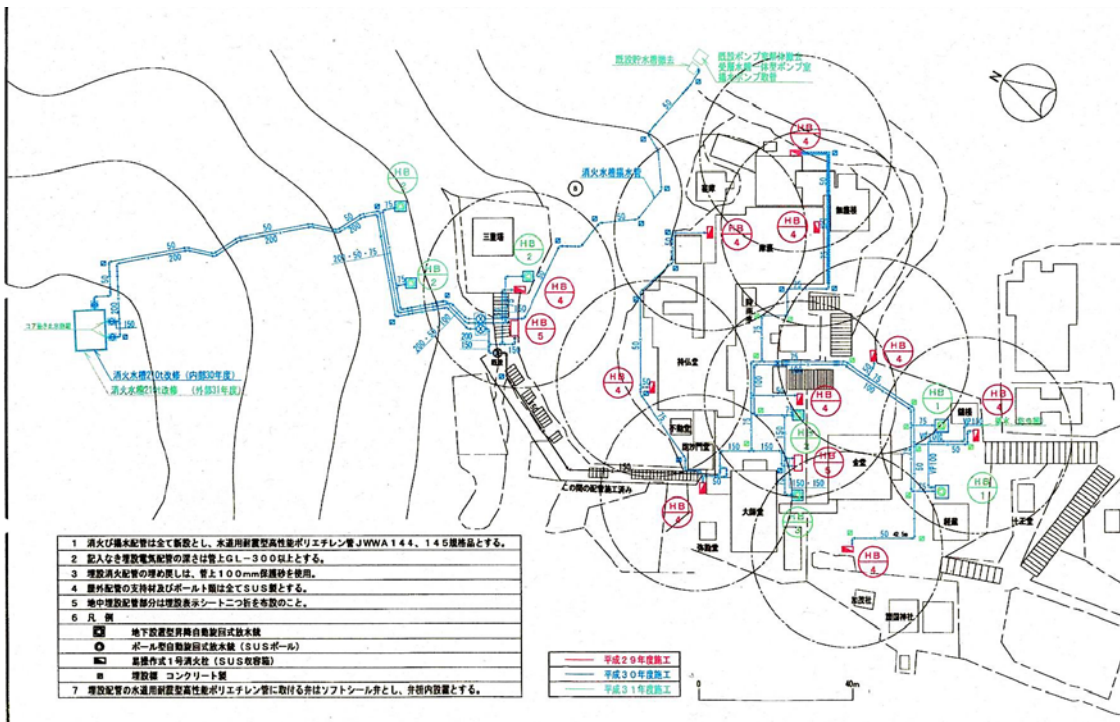
浄土寺での整備(平成26年度～27年度)に続き、重要文化財西國寺金堂及び三重塔防災・耐震対策重点強化(防災施設等)事業として、西國寺境内地一円に防災設備を整備した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

消火設備(消火栓等)整備計画図



防災設備配管の敷設状況



防災設備配管の敷設状況



評価軸③-3 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
まちなみ形成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成15年度～		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業の効果促進事業)		
計画に記載している内容	個性的で風格のあるまちなみを創出することを目的に、散在する歴史的建造物・工作物(歴史的風致形成建造物を除く)の所有者等が行う、建築当時の形態意匠を再現又は維持することを目的とする建造物の外観の修理、外観変更等の整備に要する経費に対して補助金を交付する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
整備に要する経費に対して『尾道市まちなみ形成事業補助金交付要綱』に基づき補助金を交付した。 令和元年度実績:0件 ※令和2年度の事業実施に向け、相談のあった所有者等と協議を進めている。 ◇平成24年度:1件 ◇平成25年度:2件 ◇平成26年度:3件 ◇平成28年度:2件 ◇平成29年度:1件 ◇平成30年度:2件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>整備前</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>整備実績例</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>整備後</p>  </div> </div> <p style="text-align: center;">平成24年度</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p style="text-align: center;">平成30年度</p>			

評価軸③-4 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
項目	評価対象年度 令和元年度
現在の状況	
歴史的風致形成建造物修景・修復事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成27年度～令和3年度
支援事業名	平成27年度～令和3年度 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) 平成29年度～令和2年度 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)
計画に記載している内容	歴史的風致形成建造物に指定された建造物の修景や修復のための整備費用に対し補助金を交付する。市が所有する建造物については、市による整備を行う。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
平成27年8月24日に「尾道市歴史的風致形成建造物修景修復事業補助金交付要綱」、「尾道市歴史的風致形成建造物等の公開に関する要領」を制定した。平成27年9月1日付けで2件の歴史的風致形成建造物の指定を行い、平成27年度は民間が所有する「みはらし亭」について、「尾道市歴史的風致形成建造物修景修復事業補助金交付要綱」に基づき補助金を交付した。 令和元年度実績:0件 ※新たな歴史的風致形成建造物の指定に向けて、調査等を進めている。 ◇平成27年度:1件	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
状況を示す写真や資料等	
整備実績例(平成27年度)	
	
整備前	
	
	
整備後	

評価軸③-5 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
指定文化財管理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	昭和54年度～		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備事業		
計画に記載している内容	重要文化財建造物の防災設備が円滑に機能するよう、その点検や維持管理を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
対象建造物所有者による防災設備の点検に対し、補助金を交付した。(浄土寺・西國寺・西郷寺・常称寺・天寧寺・向上寺)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
防災設備保守点検状況(天寧寺)			
			
防災設備保守点検状況(西郷寺)			
			

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
文化財防災啓発事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～		
支援事業名	尾道市単独事業		
計画に記載している内容	市民の協力を得ながら、文化財を火災等から守るため、文化財と防災に関する意識啓発を図るとともに、定期的・継続的に防災訓練を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市内の重要文化財所有寺院において、消防局、地域住民合同の文化財防火訓練を実施した。(浄土寺、西國寺、西郷寺、常称寺、天寧寺、向上寺など)今年度は、西國寺において、文化財防災訓練を実施した。また、文化庁のポスター、チラシを配布・掲示し防災意識の向上に努めた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

消防局、地域住民合同の文化財防火訓練の状況①
〔令和2年1月21日：西國寺〕



消防局、地域住民合同の文化財防火訓練の状況②
〔令和2年1月21日：西國寺〕



項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
道路美化事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～令和3年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	神社仏閣等の歴史的建造物を回遊する小路や斜面地等の散策道において、舗装及び側溝の美化化を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
道路美化の全体計画延長はL=5,678mで、旧山陽道(市道本通線:尾道本通り商店街)を中心とし、旧山陽道と並行する「通り」と呼ばれる路線や旧山陽道と交差し斜面地に延びる「小路」と呼ばれる路線の舗装及び側溝の美化化を実施する。 平成24年度から整備を開始し、令和元年度は本通線の美化化を実施した。 令和元年度実績 L=254m(本通線・土堂40号線・尾道駅前尾崎線) (累計実績 L=2,276m/5,978m) ◇平成24年度:L=322m(本通線・渡場線・築出小路) ◇平成25年度:L=90m(本通線) ◇平成26年度:L=428m(本通線・久保77号線) ◇平成27年度:L=206m(久保9号線・久保海岸線) ◇平成28年度:L=520m(土堂74号線・十四日6号・久保19号線・築地小路) ◇平成29年度:L=252m(尾道駅前尾崎線・土堂75号線) ◇平成30年度:L=204m(尾道駅前尾崎線・久保5号線)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

整備実施例(本通線)



整備前

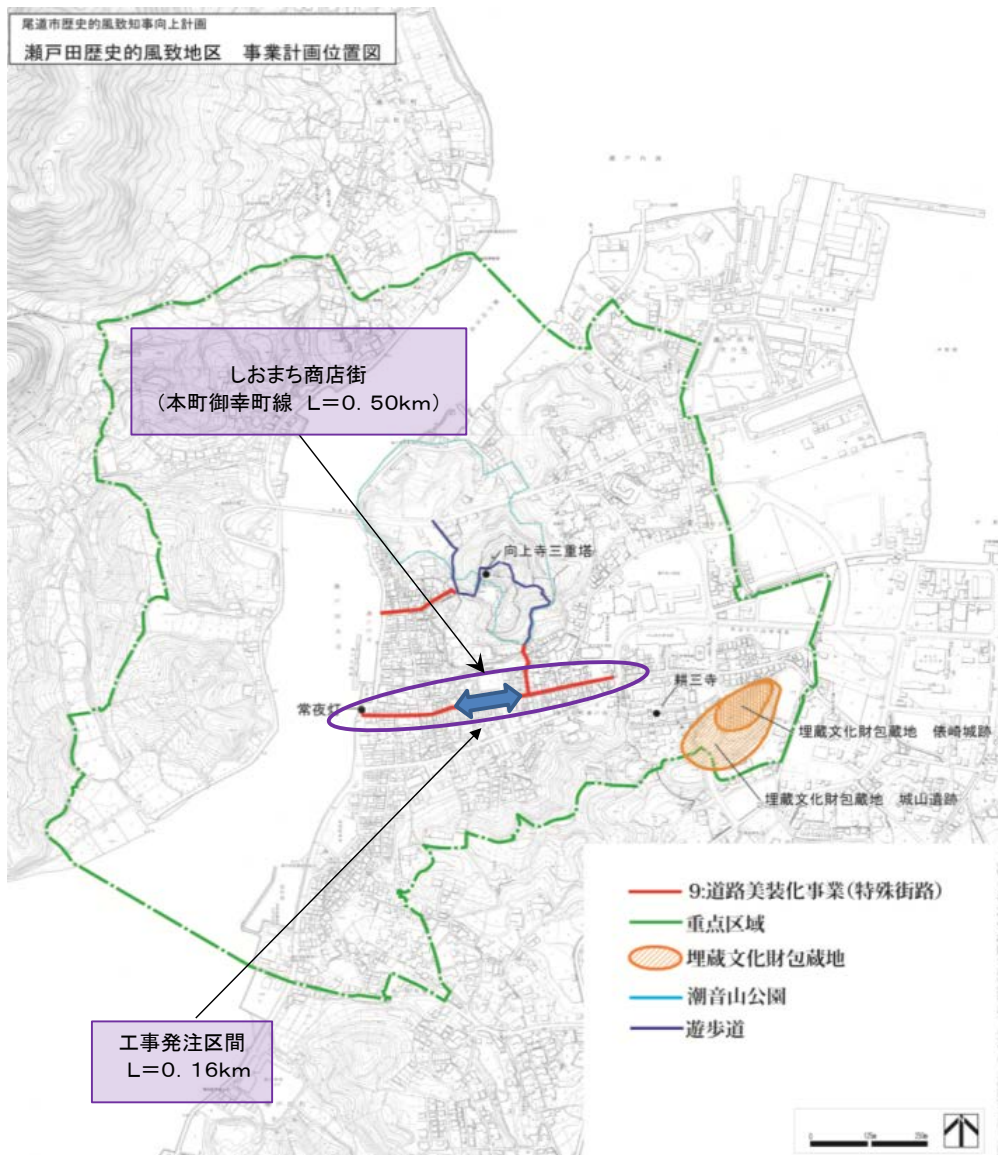
整備後



評価軸③-8
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
道路美化事業(瀬戸田地区)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成29年度～令和3年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	瀬戸田歴史的風致地区の中心地であるしおまち商店街と向上寺に至る道路において、舗装及び側溝の美化を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成29年度に道路美化工事の測量設計を実施。 平成30年度は、令和元年度の工事着手に向けて地元調整等を行う。 令和元年度は、施工延長0.16kmの工事発注。(工期:令和2年3月～8月末) 本町御幸町線:L=0.50km			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
道路美化事業(幹線街路)		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和59年度～令和3年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街路事業)

計画に記載している内容 旧西国街道にあたる久保長江線の歩道において、舗装の美化化を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

都市計画法の事業認可(～令和4年度)を受け事業を実施。
 平成24年度から用地買収・建物補償等を実施。平成26～27年度は用地買収部分の管理工事(アスファルト舗装等)を実施。
 平成28年度は、引き続き用地買収・建物補償等を実施。平成29～30年度は、引き続き用地買収及び地下にある防地川の改修を実施。
 令和元年度は、引き続き用地買収等を実施。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



工事状況

評価軸③-10 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
沿道建造物等修景事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～令和3年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	新たに美装化を行う道路及び既に美装化された道路や神社仏閣の参道において、その沿道の建造物や工作物の修景を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
修景整備に要する経費に対して『尾道市沿道建造物等修景事業補助金交付要綱』に基づき補助金を交付した。引き続き、補助制度のチラシ等により制度の活用について周知を図る。 令和元年度実績 2件(尾道・向島 2件、瀬戸田0件) ◇平成24年度: 10件(尾道・向島 7件、瀬戸田3件) ◇平成25年度: 9件(尾道・向島 9件、瀬戸田0件) ◇平成26年度: 11件(尾道・向島 11件、瀬戸田0件) ◇平成27年度: 22件(尾道・向島 22件、瀬戸田0件) ◇平成28年度: 12件(尾道・向島 10件、瀬戸田2件) ◇平成29年度: 1件(尾道・向島 1件、瀬戸田0件) ◇平成30年度: 2件(尾道・向島 2件、瀬戸田0件)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>修景前</p> </div> <div style="font-size: 2em; color: blue;">➔</div> <div style="text-align: center;">  <p>修景後</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>修景前</p> </div> <div style="font-size: 2em; color: blue;">➔</div> <div style="text-align: center;">  <p>修景後</p> </div> </div>			

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
老朽危険建物除却促進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～令和3年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	良好な景観の形成の促進及び住環境の改善を図ることを目的に、使用されず適正に管理されていない老朽危険建物の除却に要する経費に対し補助金を交付する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
除却に要する経費に対して『尾道市老朽危険建物除却促進事業補助金交付要綱』に基づき補助金を交付した。引き続き、補助制度のチラシ等により制度の活用について周知を図る。			
令和元年度実績 8件(尾道・向島6件、瀬戸田2件)			
◇平成24年度: 6件(尾道・向島 5件、瀬戸田1件)		◇平成25年度: 8件(尾道・向島 4件、瀬戸田4件)	
◇平成26年度: 11件(尾道・向島10件、瀬戸田1件)		◇平成27年度: 3件(尾道・向島 0件、瀬戸田3件)	
◇平成28年度: 15件(尾道・向島15件、瀬戸田0件)		◇平成29年度: 20件(尾道・向島17件、瀬戸田3件)	
◇平成30年度: 12件(尾道・向島12件、瀬戸田0件)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



除却前



除却後



除却前



除却後

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
空き家再生促進事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～令和3年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業の効果促進事業)

計画に記載している内容 空き家の有効利用を通して、地域の活性化及び良好な景観の形成の促進を図ることを目的に、空き家の再生に必要な改修に要する経費に対し補助金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

再生に要する経費に対して『尾道市空き家再生促進事業補助金交付要綱』に基づき補助金を交付した。引き続き、補助制度のチラシ等により制度の活用について周知を図る。

令和元年度実績 2件(尾道・向島 2件、瀬戸田0件)
 ◇平成24年度: 4件(尾道・向島 4件、瀬戸田0件) ◇平成25年度: 5件(尾道・向島 4件、瀬戸田1件)
 ◇平成26年度: 6件(尾道・向島6件、瀬戸田0件) ◇平成27年度: 8件(尾道・向島8件、瀬戸田0件)
 ◇平成28年度: 8件(尾道・向島7件、瀬戸田1件) ◇平成29年度: 3件(尾道・向島 3件、瀬戸田0件)
 ◇平成30年度: 4件(尾道・向島 4件、瀬戸田0件)

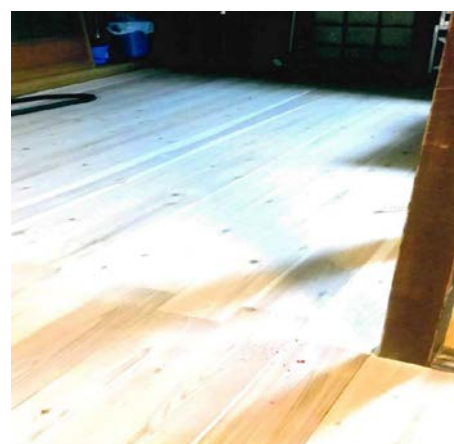
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



再生前



再生後



再生前



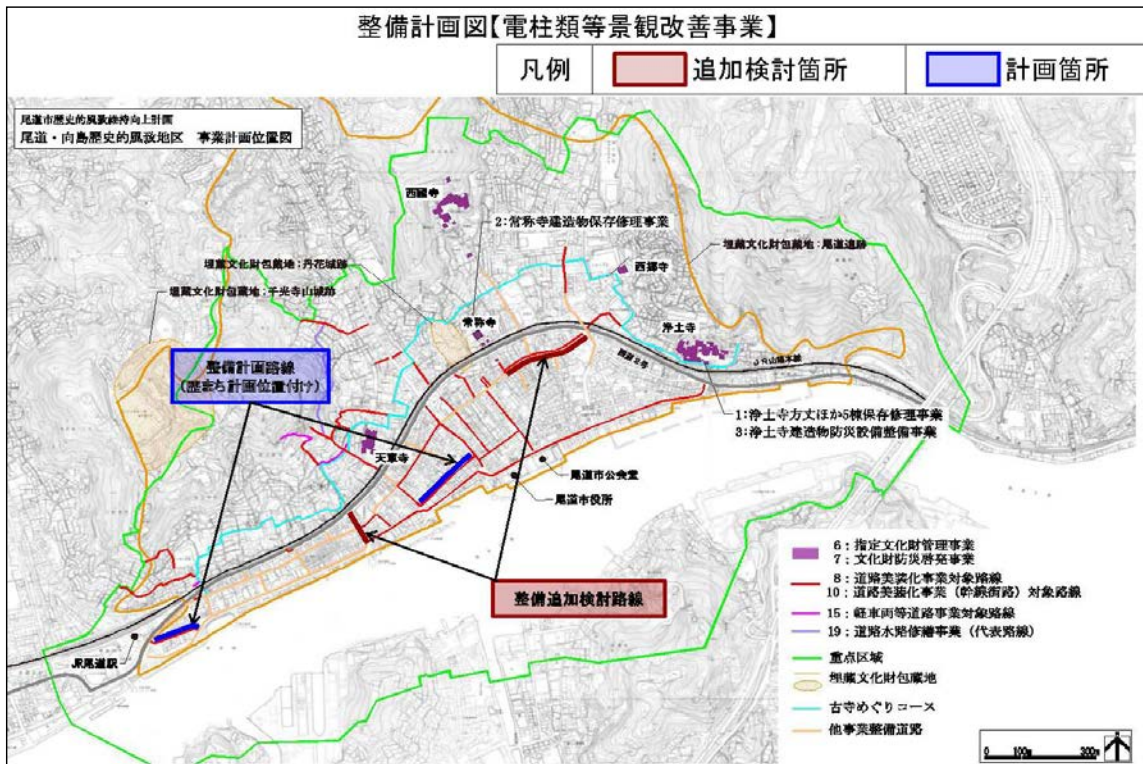
再生後

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
電柱类等景観改善事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和3年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	電柱・電線の輻輳により眺望景観が阻害されている通りを対象に、上空の電線を集約し景観に配慮した電柱とすることで、道路からの眺望景観の向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成29年度に重点区域内の2路線(渡場線他)について無電柱化を進めるための概略検討を行い、それを踏まえ平成30年度及び令和元年度では、事業実施に向けた関係機関協議を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



道路美装化事業(路側帯美装化)実施後に住民から電柱・電線について改善の要望のあった「渡場線」平成29年度で無電柱化の概略検討を実施

無電柱化イメージ



評価軸③-14 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
項目	評価対象年度 令和元年度
項目	現在の状況
軽車両等道路事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成29年度～令和3年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業の効果促進事業)
計画に記載している内容	市民や観光客の利便性向上のため、階段部や隅切りのない交差点部において、道路のスロープ化や隅切り確保を行う。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
事業実施していない。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	事業の実施にあたっては、障害となる建物(空き家)の除却が必要で、また時間も要するため、事業の再検討が必要である。
状況を示す写真や資料等	

評価軸③-15 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
夜間景観形成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～令和3年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	夜間の安全な通行と夜間景観の形成の促進を図ることを目的に、歴史的な背景を持つ街並みに調和したデザインの街灯等の設置を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
夜間景観がより魅力的なものとなるよう整備を進めていくため、「個性」「観光」「生活」の3項目を基本的な柱とした「尾道市夜間景観整備基本構想」を策定し、これまで、道路美化、側溝美化と併せた街灯の設置や参道石段照明を整備し、観光部局で取り組んでいる浄土寺等のライトアップ事業とあわせて、魅力的な夜間景観の整備を行っている。さらなる魅力を高めるため、新たな設置に向けて設置個所の検討を行った。 令和元年度実績 0基・L=0m ◇平成24年度:7基 ◇平成25年度:17基 ◇平成28年度:L=81.6m ◇平成29年度:L=37m			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
事業実績例			
			
天寧寺ライトアップ(関連事業)		持光寺ライトアップ	
			
西国寺ライトアップ(関連事業)		千光寺新道ライトアップ(関連事業)	

評価軸③-16
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
データ収集分析調査事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度

支援事業名 歴史的風致活用国際観光支援事業

計画に記載している内容 文化財や歴史的風致などの多様な魅力を、より多くの外国人旅行者に対して、効率的・効果的に情報発信し、外国人旅行者の受入環境を更に向上させるため、現状調査やニーズ調査等のデータ収集を行い、分析調査した結果を地域観光担い手育成事業等の基礎資料として活用する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「外国語を話せる調査員による聞き取りアンケート」と「Hiroshima Free Wi-Fi(HFW)利用ログ」調査を中心とし、必要に応じて、「SNS、口コミサイト」の調査を行い、尾道市を訪れている主な外国人や訪問目的等を把握することができ、受入環境向上のための基礎情報を得ることができた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

報告書(抜粋)

1、尾道市訪問客実態調査 調査概要

1-1、調査目的

外国人旅行者の増加により、平日の宿泊客の増加が見込まれ、安定的な観光振興が期待できる。外国人宿泊客を増やすために、外国人旅行者に対して、観光資源の多様な魅力を効率的・効果的に情報発信し、受入環境を更に向上させることを目的とし、尾道市を訪れている外国人の実態調査を行う。

1-2、調査方法

情報発信、受入環境向上検討時に必要となる情報(図表1-1の実態)を明らかにするために、「外国語を話せる調査員による聞き取りアンケート」と「Hiroshima Free Wi-Fi(HFW)利用ログ」調査を中心とし、必要に応じて、「SNS、口コミサイト」の調査を行った。

1-3、調査時期

<アンケート調査>
平成29年10月09日(祝)～10月12日(木)

<HFW利用ログ調査>

平成29年09月01日(金)～平成29年11月30日(木)の3ヶ月(12ヶ所の利用ログを調査)
平成28年12月01日(木)～平成29年11月30日(木)の12ヶ月(7ヶ所の利用ログを調査)

1-4、調査対象者

尾道市を訪れた外国人。ただし、尾道市の地元民を除く。

※地元民の判断

アンケート調査では、直接、地元民かどうかを確認した上で判断。HFW利用ログ調査では、調査期間内に10日以上利用実績がある者は地元民と判断。

1-5、調査場所

アンケート調査	HFW利用ログ調査
JR尾道駅南口、千光寺公園裏緑地台、尾道港駅前南端駐車場付近	新尾道駅市街センター、新築エリア、オプラクス本店、ロープウェイ山麓駅観光案内所、尾道駅観光案内所、ウォーターフロントビル(3F 奥側)、道の駅ウロコ・ドーナツ、尾道港 駅前南端駐車場(西側)、しまなみ海道 大浜PA(下り)、土生港、ドルチェ、瀬戸田本店、瀬戸田港、生口中学校跡地公衆トイレ

1-6、有効回答数とログ取得者数

以下のとおりである(自費・エリアの詳細は図1-2-1-3参照)。

<アンケート調査>

有効回答数 n=130人

<HFW利用ログ調査>

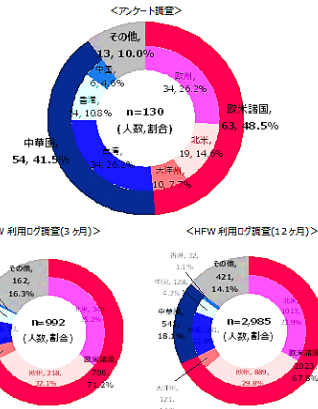
3ヶ月間のログ取得者数 n=992人(12ヶ所での利用ログの合計)、12ヶ月のログ取得者数 n=2,985人(7ヶ所での利用ログの合計)

※HFWのエリア・エリア別人数をみる際の留意点

以下の点から、各自治体様における訪日外国人の入込の真実と Free Wi-Fi の利用の傾向が異なる場合がある。

- 一般的に、Free Wi-Fi の利用は、欧米が顕著な傾向にある

図表1-3 有効回答数とログ取得者数(エリア別)



1、尾道市訪問客実態調査 調査結果(特徴のまとめ)

尾道市を訪れている外国人は、主に欧米諸国と中華圏から構成され、以下の特徴があることが分かった(詳細は、図表2参照)。

<アンケート調査結果>

- ・ 欧米諸国は、中華圏と比べて、宿泊率が高い
- ・ 欧米諸国は、中華圏と比べて、訪日か尾道市訪問を決定する割合が高く、情報源は口コミサイトや友人・知人の割合が高い。一方、中華圏は、大半が訪日か尾道市訪問を決定しており、情報源は個人のカラオケや友人・知人の割合が高い。
- ・ 欧米諸国は、中華圏と比べて、しまなみ海道エリアでサイクリングを体験する割合が高い。一方、中華圏は、大半が坂・山エリアで専ら仏教を体験しており、欧米諸国と比べて、組合街エリアを訪問する割合が高い。
- ・ 中華圏は、欧米諸国と比べて、尾道市に対する不満がある割合が高い(言語対応や交通、Wi-Fi等)

<HFW利用ログ調査結果>

- ・ 欧米諸国、中華圏ともに、広島県在住と推察される外国人も尾道市を訪れている
- <SNS、口コミサイト等の調査結果>
- ・ 尾道市の口コミサイトの投稿数は、広島市等と比べると、欧米諸国、中華圏ともに少ない
- ・ 坂・山エリアでは、欧米諸国、中華圏ともに、坂から見る専ら仏教・街並み・海の風景の投稿写真が目立つ。欧米諸

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
多言語音声設備設置事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成24年度～令和3年度
支援事業名	平成24年度～26年度 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業の効果促進事業) 平成27年度～29年度 歴史的風致活用国際観光支援事業 平成30年度～令和3年度 尾道市単独事業
計画に記載している内容	神社仏閣等や観光施設等において、海外からの観光客にも対応可能な多言語の音声システムを備えた設備を設置する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

尾道市における観光分野において、多大な協力のある宗教法人に承諾を得て順次設置を進めてきており、古寺めぐりルート内の寺院のほぼ全てに設置することができた。
 令和元年度実績 0基
 ◇平成24年度: 3基(尾道・向島) ◇平成25年度: 3基(尾道・向島)
 ◇平成26年度: 3基(尾道・向島) ◇平成27年度: 10基(尾道・向島)
 ◇平成28年度: 2基(尾道・向島) ◇平成29年度: 1基(瀬戸田)
 ◇平成30年度: 0基

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等




設置実績例



尾道地区 浄土寺 (平成24年度)



尾道地区 西郷寺 (平成26年度)

評価軸③-18 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
地域観光担い手育成事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成29年度		
支援事業名	歴史的風致活用国際観光支援事業		
計画に記載している内容	データ収集分析調査事業による分析結果を基礎資料として活用し、本市の歴史的風致を中心とした多様な観光資源を訪日外国人旅行者に確実に提供するために必要な人材の確保と育成を行う。 なお、地域観光コーディネーターの育成にあたっては、サイクリング等に合わせた案内を行うことができるような研修等を実施することとする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
これまでなかった外国人向け観光ボランティアガイド育成研修を実施することで、地域観光の担い手となることへの興味、きっかけづくりとなり、これからますます必要となる外国人旅行者への観光対応の人材育成を図ることができた。 参加者 14名			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">講義風景</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 20px auto;">フィールドワーク</div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>			

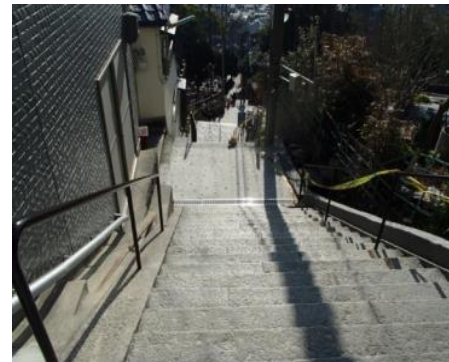
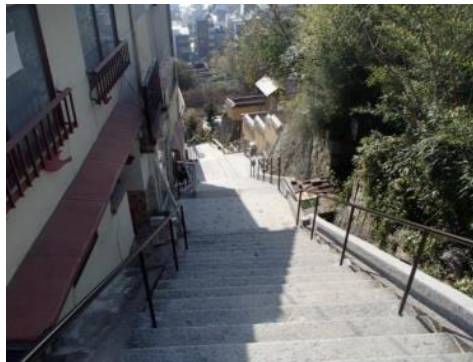
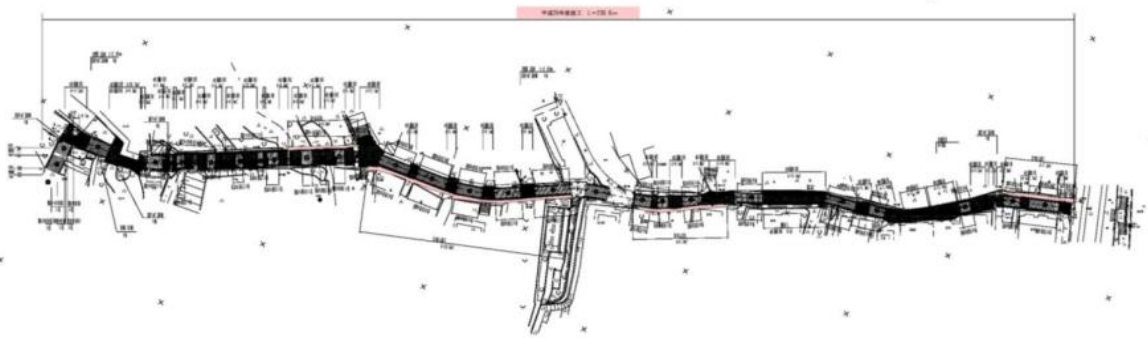
評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
			現在の状況
歩行者安全対策事業			<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成24年度～令和3年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	坂の多い尾道市において、市民や観光客の円滑な歩行を補助するため、周囲の歴史的な背景を持つ街並みに調和した新たなデザインの手すりを設置する。また、劣化している手すりについても、同様なデザインへの更新を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
道路の美化や水路修繕事業に合わせ地域住民の要望に基づき、街並みに調和したデザインの手すりの設置をしてきており、引き続き、新たに設置が必要な個所の検討を行った。 令和元年度 0箇所			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

整備実績例(千光寺参道(土堂75号線))(平成29年度)



整備後

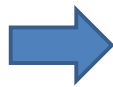
項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
道路水路修繕事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～令和3年度		
支援事業名	尾道市単独事業		
計画に記載している内容	坂の多い尾道市において、市民や観光客の安全な歩行のために、劣化によって構造的に安全面の問題があるものや美観が損なわれている階段及び水路等の修復を行い、街並み景観の形成の促進を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
道路の美化にあわせて、階段及び水路等の整備を実施してきており、引き続き、新たな整備箇所の検討を行った。 令和元年度実績 0件 ◇平成24年度:1件 ◇平成25年度:49.9㎡ ◇平成27～28年度:47㎡ ◇平成29年度:43㎡ ◇平成30年度:0件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

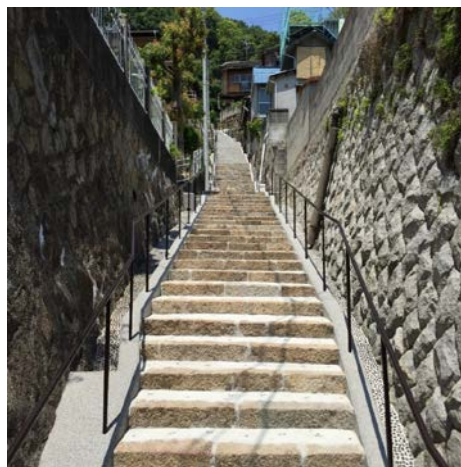
整備実績例



整備前 (平成29年度)



整備後 (平成29年度)



整備後 (平成28年度)

評価軸③-21 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
駐輪場整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和3年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	小路の多い尾道市においては、小路に駐輪された二輪車によって、市民や観光客の安全な歩行が脅かされるとともに、美観が損なわれる恐れもあるため、空き地を活用して新たに駐輪場を整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
事業実施なし。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	(誰もが利用しやすい場所での)適地の選定が困難であり、あわせて住民・観光客のニーズを踏まえて事業内容の再検討が必要である。		
状況を示す写真や資料等			

項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
文化財調査・研究事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成20年度～		
支援事業名	尾道市単独事業		
計画に記載している内容	文化財総合的把握モデル事業(平成20年度～22年度)を継承する形で、計画的・継続的に文化財の調査・研究を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市内美術工芸品の詳細調査を30箇所、市内天然記念物の詳細調査、市内民俗文化財の記録調査を2箇所実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

民俗芸能（大山神社曳舟神事）の記録調査の状況



美術工芸品（仏像）調査の状況



評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
			現在の状況
郷土芸能祭開催事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成21年度～		
支援事業名	尾道市単独事業		
計画に記載している内容	尾道市内の神楽や鉦太鼓踊り、太鼓等の民俗芸能を市民に披露し、民俗芸能の普及及び顕彰に努める。重点区域をはじめ尾道市における郷土芸能を広く紹介するとともに、普及・啓発を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
郷土芸能祭(ふるさとステージ)を尾道みなと祭にあわせて開催した。 ◇平成24年度:平成24年4月28日～29日 ◇平成28年度:平成28年4月23日～4月24日 ◇平成25年度:平成25年4月27日～28日 ◇平成29年度:平成29年4月22日～4月23日 ◇平成26年度:平成26年4月26日～27日 ◇平成30年度:平成30年4月28日～4月29日 ◇平成27年度:平成27年5月2日～5月3日 ◇令和元年度:平成31年4月27日～4月28日			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

ふるさとステージの状況



広報おのみち(平成31年4月号)




評価軸③-24

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
史跡等総合活用支援推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成19年度～		
支援事業名	平成24年度：文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業 平成25～26年度：地域の特性を活かした史跡等総合活用支援推進事業 平成27年度～：地域の特色ある埋蔵文化財活用事業		
計画に記載している内容	埋蔵文化財の整理・情報公開・データベースの整備・出張展示会、講演会の開催を行う。 特に、重点区域(尾道・向島歴史的風致地区)では、尾道遺跡に関する資料・データ等の整理、情報公開、啓発等に取り組む。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
◇出張展示会「尾道 塩の道」：平成25年1月12日～1月27日(会場＝おのみち街かど文化館)[参加者数 1,840名] ◇出張展示会「尾道の石造と石工」：平成25年8月9日～9月1日(会場＝おのみち街かど文化館)[参加者数 3,780名] ◇出張展示会「荒木村重、備後尾道に落ちる」：平成26年9月13日～10月19日(会場＝尾道市立中央図書館市民ラウンジ) (参加者未計測) ◇出張展示会「瀬戸内の覇者村上水軍と港町尾道」：平成27年7月31日～平成28年1月28日(会場＝因島水軍城) [参加者数 17,965名] ◇出張展示会「よみがえる村上海賊の記憶」：平成28年7月29日～平成28年12月14日(会場＝因島水軍城) [参加者数 19,562名] ◇出張展示会「村上海賊武器甲冑アラカルト」：平成29年7月14日～平成29年8月2日、9月1日～11月1日(会場＝因島水軍城) [参加者数 8,521名] ◇出張展示会「村上海賊合戦絵巻」：平成30年4月1日～平成30年5月30日(会場＝因島水軍城)[参加者数 7,160名] ◇出張展示会「村上海賊の信仰と祈り」：平成30年11月9日～平成31年1月9日(会場＝因島水軍城)[参加者数 4,233名] ◇出張展示会「関船から弁才船へ～瀬戸内海における軍船から廻船への歴史」：令和元年8月2日～10月16日(会場＝因島水軍城) [参加者数 7,595名]			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
出張展示会「関船から弁才船へ」 			

評価軸③-25

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
文化財愛護少年団事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	昭和43年度～		
支援事業名	平成24年度：文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業 平成25～26年度：地域の特性を活かした史跡等総合活用支援推進事業 平成27年度～：地域の特色ある埋蔵文化財活用事業		
計画に記載している内容	文化財愛護少年団の歴史は長く、毎年小中学生を対象に「文化財愛護少年団学習会」を様々な形で開催し、文化財愛護精神と郷土愛の育成に取り組んでいる。 今後とも、文化財愛護少年団活動に対する普及・啓発を図りながら、参加を促進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財愛護少年団事業学習会 ◇平成24年度：全7回(7月1日、7月30日～31日、8月18日、9月15日、11月10日、2月23日、3月24日)〔延べ参加者数 335名〕 ◇平成25年度：全7回(6月30日、7月29日～31日、8月17日、10月19日、11月16日、2月22日、3月29日)〔延べ参加者数 307名〕 ◇平成26年度：5回(7月5日、7月28、30日、8月16日、8月28日、11月15日)〔延べ参加者数 197名〕 ◇平成27年度：全10回(7月11日、27、28日、8月2日、23日、10月4日、18日、25日、11月8日、2月27日、3月30日)〔延べ参加者数 269名〕 ◇平成28年度：全6回(7月16日、25、26日、8月21日、11月6日、12月3日、2月12日)〔延べ参加者数 292名〕 ◇平成29年度：全6回(7月24、25日、8月20日、9月24日、11月11日、12月2日、1月27日、3月28日)〔延べ参加者数 285名〕 ◇平成30年度：全6回(7月22日、30、31日、8月19日、12月15日、2月24日、3月27日)〔延べ参加者数 241名〕 ◇令和元年度：全4回(7月20日、29、30日、8月18日、12月15日)〔延べ参加者数 139名〕			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
文化財愛護少年団事業学習会の開催状況(令和元年7月20日)			
			
文化財愛護少年団事業学習会の開催状況(令和元年8月18日)			
			

評価軸③-26

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
文化財講座開催事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成14年度～		
支援事業名	平成24年度：文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業 平成25～26年度：地域の特性を活かした史跡等総合活用支援推進事業 平成27年度～：地域の特色ある埋蔵文化財活用事業		
計画に記載している内容	尾道市全体やそれぞれの地域、共通するテーマ等で、文化財や歴史に関する講演会等を開催してきている。 今後とも、尾道市の文化財および歴史に関する講演会等の開催を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財講座開催事業	◇平成24年度： <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年8月26日 [参加者数148名] ・平成25年2月21日 [参加者数92名] ◇平成25年度： <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年12月13日 [参加者数72名] ◇平成26年度： <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年10月18日 [参加者数73名] ◇平成27年度： <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年8月8日 [参加者数40名] ・平成28年3月4日 [参加者数70名] ◇平成28年度： <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年7月2日 [参加者数一名] ・平成29年2月24日 [参加者数33名] ◇平成29年度： <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年5月13日 [参加者数90名] ◇平成30年度： <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年10月28日 [参加者数30名] ◇令和元年度： <ul style="list-style-type: none"> ・平成31年4月27日 [参加者数92名] ・令和元年11月18日 [参加者数50名] 		
reiva motonen	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

文化財講座の開催状況(平成31年4月27日)



文化財講座の開催状況(令和元年5月18日)



評価軸③-27

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
民俗芸能等支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	昭和43年度～		
支援事業名	尾道市単独事業		
計画に記載している内容	尾道市において文化財指定を受けている民俗芸能の活動を支援し、文化財の保存・継承や地域の活性化を促進する。また、尾道市には未指定の無形民俗文化財(民俗芸能)も多数あり、その担い手・後継者の確保や開催の支援を検討する。さらに、民俗芸能の調査や記録、情報発信等を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財保存事業として、民俗芸能団体に補助金を交付した。 (補助金対象=県及び市指定) 令和元年度:助成件数17件、助成金額1,576千円			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

補助金を交付した民俗芸能事例(ベッチャー祭)



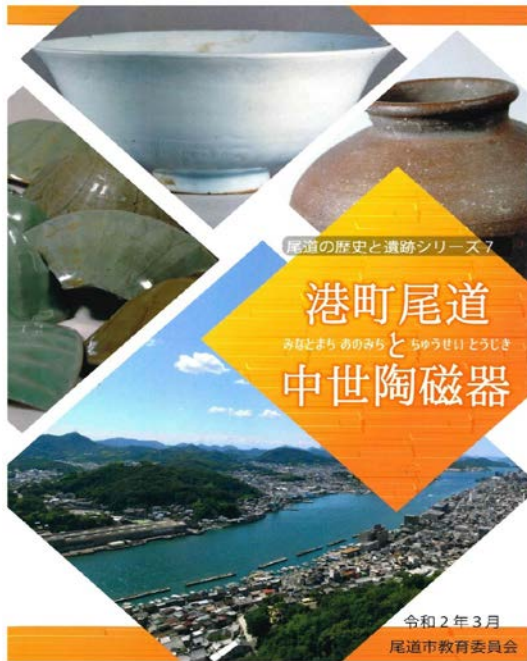
ベッチャー祭のルート

評価軸③-28
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
尾道歴史文化読本作成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～		
支援事業名	平成24年度：文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業 平成25～26年度：地域の特性を活かした史跡等総合活用支援推進事業 平成27年度～：地域の特徴ある埋蔵文化財活用事業		
計画に記載している内容	尾道市では、文化財愛護少年団活動や学校教育等を通じて、小さいころから文化財愛護精神と郷土愛の育成に取り組んでいる。こうした取り組みを継承・発展させるため、尾道市の学校教育(小学校中学年～中学生を主対象)における歴史読本の作成を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
◇平成24年度 埋蔵文化財広報冊子「尾道の歴史と遺跡 近世編」500部刊行、配布 ◇平成25年度 埋蔵文化財広報パンフレット「発掘 尾道遺産 御調編」3,000部刊行、配布 ◇平成26年度 埋蔵文化財広報パンフレット「発掘尾道市民遺産 街道編」3,000部刊行、配布 ◇平成27年度 埋蔵文化財広報パンフレット「尾道の歴史と遺跡 瀬戸内の覇者 村上海賊」3,000部刊行、配布 ◇平成28年度 埋蔵文化財広報パンフレット「尾道近世遺跡 北前船と港町尾道」3,000部刊行、配布 ◇平成29年度 埋蔵文化財広報パンフレット「尾道と塩の文化」3,000部刊行 ◇平成30年度 埋蔵文化財広報パンフレット「中世尾道の薈」3,000部刊行 ◇令和元年度 埋蔵文化財広報パンフレット「中世陶磁器と港町尾道」3,000部刊行			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

「中世陶磁器と港町尾道」



評価軸③-29

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
文化財めぐり事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和43年度～

支援事業名 平成24年度：文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業
 平成25～26年度：地域の特性を活かした史跡等総合活用支援推進事業
 平成27年度～30年度：地域の特色ある埋蔵文化財活用事業補助金

計画に記載している内容 尾道市では、区域・地域ごとに、またはテーマに基づいて、市民等が文化財に親しみ、学ぶ「古寺めぐり」などを行ってきている。
 今後とも、こうした体験型の文化財めぐりを開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ◇平成24年度：近代化遺産めぐり 平成24年12月1日 参加者35名
- ◇平成25年度：島々の文化遺産めぐり 平成26年3月1日 参加者49名
- ：文化財めぐり 平成26年3月7日 参加者19名
- ◇平成26年度：尾道戦国ツアー 平成26年9月21日 参加者数 33名
- ◇平成27年度：文化財めぐり 平成27年11月29日 参加者数48名 平成27年12月13日 参加者数100名
- ◇平成28年度：文化財めぐり 平成29年2月11日 参加者数80名 平成29年2月12日 参加者数50名
- ◇平成29年度：文化財めぐり 平成30年2月24日 参加者数100名 平成30年3月11日 参加者数68名
- ◇平成30年度：文化財めぐり 平成30年11月13日 参加者数30名 平成31年3月23日 参加者数30名
- ◇令和元年度：文化財めぐり 令和2年1月18日 参加者数45名

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

文化財めぐりの状況(令和2年1月18日)



評価軸③-30
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
近代化遺産活用事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成20年度～

支援事業名 尾道市単独事業

計画に記載している内容 尾道市では、バスを利用して市内各地の近代化遺産をめぐる取り組みを行っている。今後とも、関係権利者・管理者の理解と協力を得ながら、近代化遺産の公開の促進に努めるとともに、「近代化遺産めぐり」などの開催を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

近代化遺産めぐり
 ◇平成24年度：平成24年12月1日 参加者数35名 ◇平成25年度：平成26年 3月1日 参加者数49名
 ◇平成26年度：平成26年9月21日 参加者数33名 ◇平成27年度：平成27年8月23日 参加者数13名
 ◇平成28年度：平成29年2月12日 参加者数80名 ◇平成29年度：平成30年3月11日 参加者数71名
 ◇平成30年度：平成31年3月23日 参加者数30名 ◇令和元年度：令和2年1月18日 参加者数45名 文化財めぐり事業と合同開催

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

平成26年度：近代化遺産めぐり



平成27年度：近代化遺産めぐり



平成28年度：近代化遺産めぐり



平成29年度：近代化遺産めぐり



平成30年度：近代化遺産めぐり



令和元年度：近代化遺産めぐり



評価軸③-31

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
文化施設ネットワーク事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～

支援事業名 尾道市単独事業

計画に記載している内容 おのみち歴史博物館、尾道商業会議所記念館、尾道遺跡発掘調査研究所等の役割分担と連携を図りながら、情報の共有化・ネットワーク化を進め、市民や訪れた人々の情報サービスを高めるとともに、ホームページにおける歴史文化情報等の充実に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

商工部局が管理する「尾道商業会議所記念館」で企画展示を実施した。
また、企画展示開催の情報発信を各施設で行うなど所管する関係課と情報交換を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

企画展示会場となる尾道商業会議所記念館

尾道商業会議所記念館の位置(観光パンフレットから)



企画展示の状況

尾道商業会議所記念館 令和元年度企画展示の概要

- ① 第36回企画展示
『尾道港開港850年～黄金時代と都市の考古学』
- 期間: 令和元年5月31日(金)
～11月6日(水)
- [参考]入館者数: 23,947人
※企画展示のみの来場者数は把握していないため、
期間中の尾道商業会議所記念館の入館者数を記載



尾道商業会議所記念館 令和元年度企画展示の概要

- ② 第37回企画展示『尾道港開港850年～みなと尾道ビジュアルアーカイブ』
- 期間: 令和元年11月8日(金)
～令和2年2月27日(水)
- [参考]入館者数: 6,969人
※企画展示のみの来場者数は把握していないため、
期間中の尾道商業会議所記念館の入館者数を記載



評価軸④-1
文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
文化財の調査に関する事項		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	地元調査員による有形文化財(建造物)、民俗文化財、歴史的景観(小景観:狭い範囲の景観)の調査、及び専門家による美術工芸品(仏像)、民俗芸能、歴史的建造物の調査を、市内全域の統一基準で実施しており、継続してその他の分野でも市内全域を対象とした文化財調査の実施に努める。 また、文化財調査の際には、市民参加型の調査を行い、郷土の文化財への理解と愛護精神の高揚を目指す。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○文化財調査・研究事業(評価軸③-22:P26)を参照 ○近代化遺産調査・研究及び保存・活用検討事業			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

③-22：文化財調査・研究事業：P26 ①



③-22：文化財調査・研究事業：P26 ②



評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
		現在の状況
文化財の防災に関する事項		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

特に建造物は、被害を受けやすく、修理に多大な時間と費用を必要とするため、防災対策を万全にし、被害を未然に防ぐこと、被害を最小限にとどめることが重要であり、防災設備の設置と点検を推進する。
 また、従来の文化財の防災対策は、指定文化財に限定されることが多く、指定文化財以外の文化財や文化財の周辺環境に対しては、同様の防災対策はとられていないのが現状である。これらについては、指定文化財と同様の対策をとるのではなく、その状況に応じた防災対策を練る。そのためには、各地域の防災組織と情報交換を行い、文化財をとりまく地域ぐるみの防災体制の構築に努める。
 また、防災だけでなく、防犯対策も必要であり、文化財所有者への防犯意識の徹底を図る。
 文化財の適切な保存・活用のため、文化財所有者及び地域住民の防災意識を高め、文化財防災設備点検等を行う文化財管理事業を継続的に実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 重要文化財建造物防災設備整備事業
- 指定文化財管理事業(評価軸③-5:P9)を参照
- 文化財防災啓発事業(評価軸③-6:P10)を参照

進捗状況 ※計画年次との対応

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

状況を示す写真や資料等

③-5：指定文化財管理事業：P9



③-6：文化財防災啓発事業：P10



評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	

文化財の継承の仕組みに関する事項

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容
 文化財への関心と理解を高めていくため、子どもから高齢者まで、それぞれの関心や状況等に応じた文化財の啓発や学習・体験機会の確保に努める。
 さらに、指定文化財または国登録文化財ではないものの中から、市民自らが価値や魅力を再認識して、残したい歴史文化資源として登録する(仮称)尾道市歴史文化資源市民登録制度の創設に取り組む。また、歴史文化資源が市民によって大切にされ、生かされ、次代に伝えていけるよう、市民や関係団体と協働しながら、啓発や情報提供、保存・活用の活動支援に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 史跡等総合活用支援推進事業(評価軸③-24:P28)を参照
- 文化財愛護少年団事業(評価軸③-25:P29)を参照
- 文化財講座開催事業(評価軸③-26:P30)を参照
- 登録有形文化財推進事業
- 民俗芸能等支援事業(評価軸③-27:P31)を参照
- 尾道歴史文化読本作成事業(評価軸③-28:P32)を参照

進捗状況 ※計画年度との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

③-24：史跡等総合活用支援推進事業：P28



③-25：文化財愛護少年団事業：P29



③-26：文化財講座開催事業：P30



③-27：民俗芸能等支援事業：P31



③-28：尾道歴史文化読本作成事業：P32



評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
文化財の活用に関する事項		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 文化財の保存・活用及び文化財を生かしたまちづくり等に関わる組織の設立や育成と支援を行うとともに、それらが連携し、協働による事業等を企画・推進する体制づくりに努める。また、組織への市民等の参加を促進するとともに、担い手の育成支援に努める。
 文化財と市民をつなぐ体制づくりが必要であり、市民参加型の様々な事業の実施を目指す。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 文化財めぐり事業(評価軸③-29:P33)を参照
- 近代化遺産活用事業(評価軸③-30:P34)を参照
- 文化施設ネットワーク事業(評価軸③-31:P35)を参照

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

③-29：文化財めぐり事業：P33



③-31：文化施設ネットワーク事業：P35



③-30：近代化遺産活用事業：P34



評価軸⑥-1
その他

項目 評価対象年度 令和元年度

他都市等の行政視察、調査等の受け入れに対する取組

計画に記載している内容 記載なし

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

歴まち計画の認定を受けたことにより、各都市からの視察や調査が増えた。
令和元年度の視察対応 2団体
◇令和元年8月6日：静岡市議会都市建設委員会 10名
◇令和2年1月31日：静岡県都市計画協会 約50名

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



令和元年8月6日 静岡市議会



令和2年1月31日 静岡県都市計画協会

項目	評価対象年度	令和元年度
----	--------	-------

観光客(総数・外国人)数の推移

計画に記載している内容 記載なし

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

歴史的なまちなみや瀬戸内しまなみ海道のサイクリングなど多様な魅力によって、特に外国人観光客が増加している。
 >平成23年(認定前)約4万人⇒平成24年(認定後)約6.7万人⇒平成30年約33.2万人(数値はいずれも推計)
 ※平成30年は7月の豪雨災害の影響により、総観光客数は前年度に比べて減少。
 「歴史的風致活用国際観光支援事業」等の支援を受け、引き続き、外国人旅行者の受け入れ体制の整備を行う。

進捗状況 ※計画年次との対応

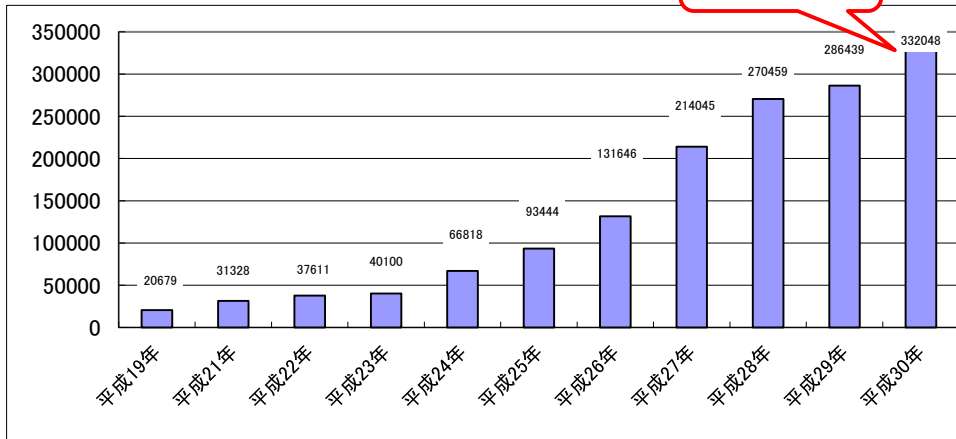
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

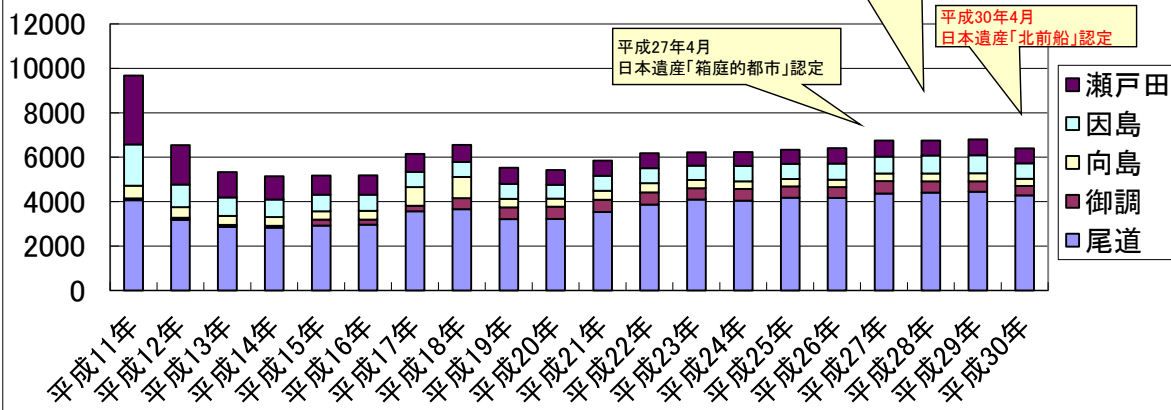
状況を示す写真や資料等

	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	
外国人観光客数	25,317	31,328	37,611	40,100	66,818	93,444	131,646	214,045	270,459	286,439	332,048	(人)
総観光客数	5,420,840	5,849,334	6,180,380	6,223,250	6,229,438	6,330,466	6,411,529	6,746,966	6,749,030	6,800,612	6,394,530	(人)

外国人観光客数(推計)



尾道市観光客数の推移



法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和元年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議の名称: 令和2年度第1回尾道市歴史的風致維持向上計画推進協議会(書面会議)	
会議等の開催日時 令和2年6月	
(コメントの概要)	
<p>①インバウンドの強化及び千光寺公園頂上エリアリニューアル事業の進展を期待します。</p> <p>②歴史的風致形成建造物の候補としている久保及び土堂小学校校舎を指定、又は登録有形文化財に指定して保存すべきと考えます。</p> <p>③重点区域内(尾道・向島歴史的風致地区)ではありませんが、小林和作邸の解体が決まりました。この邸宅は大正3年に建築されたもので、ダメージもそれほど大きくなく、活用案さえ提案できれば十分に保存可能であったと考えます。こうした決定に対し、推進協議会として提案できなかったのは残念です。担当課との議論はなされたのでしょうか？今後の事を考える上でも、その点を確認したいと思います。</p>	
(今後の対応方針)	
<p>①本市総合計画において、インバウンド対策の強化及び観光基盤の整備を推進することとしています。引き続き、歴史的風致維持向上計画による街なみ、建造物を観光交流に結び付けるまちづくりに取り組んで参ります。</p> <p>②両校舎とも、歴史的な街なみの構成要素として貴重な建物であると考えます。施設所管課の今後の方針を踏まえ、保存の判断も検討して参りたいと考えます。</p> <p>③推進協議会の事務局である文化振興課において、保存・活用方法について関係者を含めて検討を重ねて参りましたが、建物の老朽化が著しく、安全面を含めた周辺への影響を踏まえ、止む無く解体の判断に至りました。今後も、計画の方針に沿って歴史的建造物の保存と活用に努めて参ります。</p>	